

## 四年に一度のキウイフルーツ会議（中国・武漢）

— 急速に広がる中国のキウイフルーツ生産 —

四年に一度の国際キウイフルーツシンポジウムには、世界のキウイフルーツやマタタビ属植物の研究者が集います。二〇〇二年は、キウイフルーツのルーツである中国の武漢市で開催されました。マタタビ属の研究を始めて数年が経ち、少し成果が出てきたので、大学院生の國土君とともに参加し、日本自生の種や品種の遺伝的類縁性について口頭とポスターの発表を行いました。日本に自生するマタタビ属の植物は4種のみですが、多様性に富み有用な形質を持つものが多くあります。

中国でのキウイフルーツの栽培面積や生産量について、世界第一位のイタリアとほぼ同程度に達していることが、初めて報告されました。原産国の中国で、生産が急速に拡大しているようです。

二〇〇二年九月十四日

